

日本の将来を問う！

神奈川県 神奈川5区 戸塚・泉・瀬谷区

衆議院議員 水戸まさし

KICK OFF 通信



維新の党

2016年・申年を望む

◆やはり経済問題が最大のテーマか

新年明けましておめでとうございます。安らかなお気持ちで新年を迎えられたことでしょうが、この1年はまさに激動の年回りとなること間違えなしです。

何と言っても、経済問題は本年の最大の関心事と言えますし、参議院選挙の争点となり得ます。残念ながら、去年の短期GDP値は2期連続のマイナスとなりました。中国経済の減速は予想以上でして、貿易減と投資の先送りによる日本へのダメージは免れません。まして、来年4月以降の消費税10%はさらに追い打ちをかける結果となりましょう。一体、アベノミクスはどこに行ってしまったのでしょうか。

◆税制改正なんて大丈夫なの

昨年末には消費税の軽減税率を巡って、かなり与党内がギクシャクしましたね。税率を8%のまま据え置くだけに過ぎないのに、国民全体が「軽減」という言葉に踊らされてはいませんか？

そもそも消費税の欠点は、低所得者にとっての負担感を増幅させてしまうことです。軽減税率は相対的に高額所得者に対するの恩恵につながりますので、この導入だけでは低所得者イジメになってしまい、本末転倒と言えます。

他方、法人減税策は単に大企業の利益を内部留保させるだけで、一向に社員の賃金増に結びついていません。所得を伸ばして消費に刺激を与える策とは程遠く、むしろ、経済活性化に逆向していくことを恐れます。

◆TPPは救世主となり得るか

昨年10月に大筋合意を見た12か国間の通商交渉。しかし、あくまで歩み寄りを見せたに過ぎず、結論は各国に持ち帰りつつ国会の承認を要しますので、最終的な結論が出るまでには、後3年近くかかるでしょう。

合意内容の全容が明らかにされていない以上、日本にとって総合的にプラスかマイナスかは不明確です。農産品の自給率の問題や、食の安全性の問題

など、単に安い農産品が国内に入ってくることを手放して喜べない状況です。

◆何より資金を回すこと

経済を活性化させるためには、何と申しましても市場に資金を循環させることに尽きます。

お金が上手く回れば、その流れに税金が乗っていきます。したがって、仮に法人減税するならば、留保金課税をして内部に利益を貯めさせないことです。給与や設備投資にお金をシフトさせることが肝要です。

また短絡的な消費税増税を見送って、直接税である所得や資産に関する高額部分への課税強化を行い、財源対策と格差是正策を講ずるべきだと思います。

最大のポイントは、国民消費を冷え込ませず、経済を活性化させることに尽きましよう。

水戸まさし profile

- 昭和37年 7月28日生まれ
神奈川県立湘南高校・慶應義塾大学卒業後、サラリーマン生活を経て、代議士秘書
- 平成 4年 「税は政治なりとの思いで始めた
税理士試験に合格(平成10年に開業登録)
- 平成 7年 県議会議員初当選 ~ 平成19年まで連続3期
平成19年 7月、第21回 参議院議員選挙、当選以来
予算委員会、財政金融委員会、ODA特別委員会にて理事を歴任
- 平成24年 9月、日本維新の会結成に参画、党選対委員長
平成26年 12月、第47回 衆議院議員選挙、初当選
総務委員会 理事・維新の党 国家政策部会長
維新の党 税理士制度推進議員連盟 幹事長

<血液型>O型

<趣味>読書、マラソン、水泳、サッカー、映画鑑賞

<好物>牛丼、チョコレート <尊敬する人>西郷隆盛

